

# バリアフリームーブメント

“いざ”じゃないとき知る知識!  
“いざ”というとき引き出す知識!

バリアフリーな社会を生きるため、  
必要なことを先取りしよう!

「今回のテーマ、  
多くの人たちのことを、  
もっと知りたい! 障害  
のある人達の国際大会」

既存の製品をより多くの人が使いやすいように  
してくるモノや、今まで使いにくかったもの  
を使いやすくするためのモノ、バリアフリー  
に関する情報等を紹介しているこのコーナー。  
今回は、「障害のある人達が参加する大会」を  
紹介する。  
(森川 美和)



## 2007年ユニバーサル技能五輪大会 の開催/静岡県

本年11月、静岡県において  
2007年ユニバーサル技能  
五輪の国際大会」が開催さ  
れる。

この大会は、「第39回技能  
五輪国際大会」と「第7回国  
際アビリンピック」を併催し  
総称して呼んでいる。

「技能五輪国際大会」は、  
世界各国・地域の予選会を勝  
ち抜いた22歳以下の青年技能

者が一同に会し、世界を舞台  
に、技能を競いあい互いの技  
能の向上を目指すと共に、大  
会を通じて国際交流を深める  
ものである。

一方、国際アビリンピック  
は、障害のある人達の職業的  
自立の意識を喚起すること  
に、社会における理解と認識  
を深め、さらに国際親善を  
図るものである。

【本大会のお問い合わせ先】  
〔財〕2007年ユニバーサル技能五輪国際大会  
日本組織委員会  
〒112-8503 東京都文京区小石川1-4-1  
(住友不動産 後楽園ビル)  
TEL: 03-3815-5173  
FAX: 03-3815-5176

### 世界初! 二つの大会が同時開催

両大会とも、職業に対する  
意識や技術の向上、国際交流  
を深めるという観点では同一  
の考え方があられる。  
そこで(財)2007年ユニ  
バーサル技能五輪国際大会日  
本組織委員会、日本でも同時  
開催を計画。

ユニバーサルデザイン先進  
県である静岡県は、その開催  
国としての大役を担い準備を  
進めている。

この大会を通じて若い技能  
者や障害のある人達、または  
関係者や参加者が心を通わ  
せ、理解しあえるような社会  
の実現を目指していること  
も、大きな目的の一つである  
といえる。

### 世界各国から参加

「技能五輪国際大会」で  
は、アラブ首長国連邦をは  
じめ、オーストラリア、ベルギ  
ー、ブルネイ、ジャマイカ、モ  
ロッコなど約50カ国・地域  
約2800人(選手、審査員  
他)が48職種に参加予定。  
「国際アビリンピック」は、

オーストラリア、サウジアラ  
ビア、フィリピンなど36カ  
国・地域、936人(6月30  
日現在)選手、審査員、介助  
者他)が、30種目に参加の予  
定である。

競技日程は以下のとおり、  
入場は無料。  
技能五輪国際大会:  
11月15日(木)~18日(日)  
(4日間)

競技会場: 沼津会場・門池  
地区(静岡県沼津市大岡)  
国際アビリンピック:  
11月15日(木)~17日(土)  
(3日間)  
競技会場: 静岡会場・シ  
インメッセ静岡(静岡県静  
岡市駿河区曲金3-1-10)

## 2007年DPI世界会議の開催/韓国 (K-INTEX) 韓国京畿道高陽市

DPI (Disabled Peoples' International) の略で、障害  
者インターナショナルを言  
う。1981年に国際  
障害者年を機に設立された  
障害のある人(当事者)の団  
体である。

DPIは、障害のある人  
自身、専門家や家族、周  
囲の人々に守られるだけの  
存在ではなく、自分の意思  
や考えを持って生活するこ  
とができるようにすること  
を目標にして活動を続けて  
いる。

### 障害の種別を越えた 集まり

DPIの最大の特徴は、

知的に障害のある人や体  
障害のある人、精神に障害  
のある人など、障害の種別  
を越えた集まりにある。

またDPIは世界的な組  
織であり、約120ヶ国に  
国内組織がある。

そのため、世界の障害の  
ある人達の現状や情報をリ  
アルタイムにキマツチする  
ことができ、その活動に生  
かしたり、社会に提供した  
りすることもできるのだ。

### 2007年の世界会議 の開催は韓国

今年度は、歴史的に考え  
ても、障害のある人達にと  
って新たな機会となる「障

害者の権利条約」が国際連  
合で採択された年でもある。  
同じ時代に生きるものと  
して、障害のあるなしにか  
かわらず、情報を得ておく  
ことはとても大切なこと  
である。

今回の韓国大会のテーマ  
は「Our Rights, Our  
Convention, But for all  
(私たちの権利、私達の条  
約、そしてすべての人のた  
め)」。

地球規模で実施していく  
本条約については、この機  
会を得て、多くの方に知っ  
ていただきたいと思う。  
DPI日本会議の三澤さ  
んは、「国連で障害者の権利



条約が採択されてからはじ  
めての障害当事者による大  
規模な国際会議です。障害  
者運動が盛り上がりつつある  
韓国で、これら条約をき  
ちんと守り、すみやすい社  
会をつくるために世界の仲  
間と交流して欲しいです」  
と話した。

【DPIや世界会議韓国大会のお問い合わせ先】  
特別非営利活動法人 DPI (障害者インターナショナル)  
日本会議事務局  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-11-8 武蔵野ビル5階  
TEL: 03-5282-3730  
FAX: 03-5282-0017  
HP: <http://www.dpi-japan.org/>